



栗原中学校 2023年10月

図書館便り

スポーツの秋、食欲の秋…秋は楽しみが多いですね。体育祭が近づくと、昼休みは大縄跳びの練習で忙しいと思いますが、時間のある時、放課後などを利用して、ぜひ読書の秋も楽しんでください。本の返却は返却ポストでもOKです。

お知らせ

10月24日～11月10日



体育祭のあとはハロウィン週間が始まるよ！

貸出スタンプラリー

1冊借りるごとにスタンプを一つ押します。3つたまったらしおり、5つたまったらブックカバーをプレゼント！

先生と学習図書委員のこの本おすすめ

先生と学習図書委員のおすすめの本の紹介カードと本の展示をします。本に一言書ける用紙をはさんでいます。読んだ人はよかったら一言メッセージを書いてください。



ひとはこ図書館

各クラスに学習図書委員がひとはこ図書館を作ります。自由に見て下さい。借りたい本があったら、図書館で借りてください。

読み聞かせイベント

学習図書委員が絵本の読み聞かせをします。聞いてくれた人には、1回につきスタンプを1つ押します。先着9名まで。



みんなで作るハロウィンポスター

好きな本を、カードに書いてポスターを作ろう。図書館にない本でもOK。



2023・第77回 読書週間も始まります。

私のペースでしおりは進む

10/27～11/9

ただ今
展示中

仕事を考える本

将来はどんな仕事についてみたいですか。先輩たちの体験が書かれた本や、新しい仕事の本など、参考にしてみてください。お仕事小説も展示します。

『なぜ僕らははたらくのか 君が幸せになるために考えてほしいたいせつなこと』池上彰監修 Gakken 【366な】



進学校に入学した隼人は不登校に。転校し、仕事についてのある本を読み、自信をつけていく。働くことについて、様々な情報がわかりやすく書かれています。

『お仕事ナビ』1巻～25巻 理論社 【366お】



仕事の内容、一日の流れや職場の様子など、実際にその職業の人が、カラー写真とともにわかりやすく紹介しているシリーズです。

『21世紀の新しい職業図鑑 未来の職業ガイド』武井一巳著 秀和システム【366た】



『子ども手に職図鑑 AIに取ってわられない仕事100』誠文堂新光社 【366こ】



『中高生のスポーツハロワーク』Gakken 780ち】



『珍獣ドクターの診察日記』田向健一著 ポプラ社【649た】



『声のお仕事』川端裕人著 文藝春秋【913か】
声で世界を変える！が口癖の勇樹がやっとな声優の仕事は犬役だった…。

福祉を考える本

福祉の本はおもに369の棚にあります。小説など他の分野の本も見て、いろいろな考え方、感じ方を知ろう。

『わたしが障害者じゃなくなる日』海老原宏美著 旬報社【369え】



著者は難病のため車椅子がないと動けない。だが車椅子でどこにでも行ける社会なら自分は障害者ではないという。皆が生きやすい社会とは。

『やさしくわかる はじめての手話』手話教室華の木監修 ナツメ社【378や】



『髪がつなぐ物語』別司芳子著 文研出版【369べ】
病气やけがでウィッグが必要な人のために髪を寄付するヘアドネーションの物語。

『手で見ると世界は』榎崎茜著 くもん出版【913か】



中学から視覚支援学校の寮生活を始めた佑（たすく）。同級生の双葉が不登校になったことから、白杖の練習に身が入らなくなる。だがつらい思いをした双葉は一步前に進もうとしていた…。

『目で見ることばで話をさせて』アン・クレア・レゾット作 岩波書店【933れ】



19世紀初頭、11歳のメアリーの住む島は、ろう者が多く聴者と自然に手話で会話をしていた。島の状況の原因を解明しようと科学者が訪れ、メアリーその恐ろしい計画に巻き込まれ…。

■新着図書①～⑧は下に紹介文があります。

請求記号	書名	著者名	出版社
019お	13歳からの「身になる読書術」	大居雄一	メイツ出版
123こ	身近な出来事でわかるはじめての論語	青山由紀監修	岩崎書店
210.5お	徳川家康と最強家臣団 チャートと地図でわかる	小和田泰経	HobbyJapan
210.7こ	☆不死身の特攻兵	鴻上尚史	講談社
289と	キャラ絵で学ぶ！ 徳川家康図鑑	千羽ひとみ	すばる舎
256こ	①知られざるマヤ文明ライフ	譽田亜希子	誠文堂新光社
291か	神奈川「地理・地名・地図」の謎	浜田弘明監修	実業之日本社
302な	トルコから世界を見る	内藤正典	筑摩書房
304く	13歳からのニュースウィークくらしから世界がわかる	栗下直也	cccメディアハウス
312じ	13歳からの図解でなるほど地政学	村山秀太郎監修	メイツ出版
319か	②僕のの仕事は、世界を平和にすること	川崎哲	旬報社
334ぎ	③難民の？がわかる本	木下理仁	太郎次郎社エディタス
361な	何が問題？格差のはなし	山田昌弘監修	Gakken
371こ	思春期のしんどさってなんだろう？	鴻巣麻里香	平凡社
451さ	④空を見上げてわかること	斉田季実治	PHP研究所
452せ	世界でいちばん素敵な海の教室	藤岡換太郎	三才ブックス
460お	身近な生物のきもち	大島健夫	メイツ出版
468み	神秘のプランクトン	峯水亮	日経ナショナルジオグラフィック社
488し	作ろう！フライドチキンの骨格標本	志賀健司	緑書房
489い	しっぽをなくしたイルカ	岩貞るみこ	講談社
489ぜ	絶景秘境に息づく世界で一番尽くしいクジラ&イルカ図鑑	水口博也	誠文堂新光社
523す	横浜の名建築をめぐる旅	菅野裕子・恩田陸	エクスナレッジ
536も	ずかん自転車	森下昌一郎	技術評論社
588い	イチからつくるコーラ	コーラ小林	農文協

■新着図書 ☆は先生のおすすめ本、*は生徒の購入希望の本です。

請求記号	書名	著者名	出版社
596さ	おうちで作れる実験スイーツレシピ	sachii_homemade	翔泳社
610て	テーマで探求世界の食・農林漁業・環境ほんとうのグローバルゼーションってなに？		農文協
610て	テーマで探求世界の食・農林漁業ほんとうのサステナビリティってなに？		農文協
610て	テーマで探求世界の食・農林漁業ほんとうのエコシステムってなに？		農文協
686ひ	ヒギンズさんが撮った小田急電鉄、箱根登山鉄道、相模鉄道	ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ	アルファベータブックス
783み	VISION 夢を叶える逆算思考	三苫薫	双葉社
911さ	⑤阪田寛夫詩集 ねこふんじゃった	阪田寛夫	童話屋
913き	岸部露伴は倒れない	北國ばらっど	小学館
913す	ゴリラ裁判の日	須藤古都離	講談社
913つ	⑥この夏の星を見る	辻村深月	KADOKAWA
アンソロジー 913と	⑦True Colors		KADOKAWA
913ふ	怖い物件	藤白圭	河出書房新社
913む	まいまいつぶろ	村木嵐	幻冬舎
916く	⑧目もあてられない日々	栗山隆太	小学館
933ま	プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話	リンジー・マティック	評論社
933ろ	ロレンスショートセレクション 二番がいちばん	D・H・ロレンス	理論社
B783は	心を整える	長谷部誠	幻冬舎
B913い	雨を告げる漂流団地	岩佐まもる	KADOKAWA
アンソロジー B913	*交換ウソ日記アンソロジー		スターツ出版
B914さ	おんぶにだっこ	さくらももこ	集英社
B915ま	おくのほそ道を旅しよう	田辺聖子	KADOKAWA
B943へ	車輪の下	ヘルマン・ヘッセ	新潮社
E726さ	世界で最後の花 絵のついた寓話	ジェームズ・サーバー	ポプラ社
M726	☆ピノ：PINO	村上たかし	双葉社

①『知られざるマヤ文明ライフ』



メキシコ東部から中央アメリカの北西部にまたがる地域で栄えたマヤ文明。どんな人たちが、どんな社会を築いていたのか。ピラミッド、暦、文字、神話などイラストや写真でよくわかる。

②『僕のの仕事は世界を平和にすること』



著者は世界から戦争や兵器をなくすために市民の立場で自主的な活動をしている。ピースボードや核兵器廃絶のための活動から考えた、世界を平和にするために大事なことは…。

③『難民の？がわかる本』



難民とは政府から迫害を受けるなど、身の危険を感じて自分の国から逃げ出した人のこと。宗教、人種、戦争など理由は様々だ。日本の状況や、避難民との違いなどわかりやすく説明する。

④『空を見上げてわかること』



ラグビー三昧の高校生活を送っていた著者が、回り道を経て気象予報士に。気象キャスターの仕事、地域に特化した気象情報や宇宙天気予報など気象予報士の未来の姿も語られている。

⑤『阪田寛夫詩集 ねこふんじゃった』



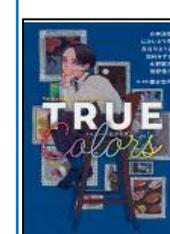
「ねこふんじゃった」「さっちゃん」「おなかのへるうた」など誰もが知っている童謡の詩の作者である阪田寛夫さん。言葉遊びのようなリズムカルでユーモラスな詩がおさめられている。

⑥『この夏の星を見る』



2020年コロナ禍で、部活動が制限され、コンクールがなくなった日々。やりきれない思いを抱える天文部の中高生たちが、リモートであることに挑戦する。コロナ禍でつながる青春小説。

⑦『True Colors』



頑張って女子校に合格した鈴は、共学に行った幼馴染の翔太に好きな人ができたと聞きショックを受ける。6人の作家とマンガ家が中学生たちの気持ちを描くジェンダーフリーアンソロジー。

⑧『目もあてられない日々』



小5で全盲となった栗山さん。イラストレーターのエイイチさんと、障害のある人たちと健常者との境界線をなくしたいとの思いから作った本。盲導犬との日常がユーモラスに描かれる。